

4 研究の進め方 —研究の構想と研究の実際—

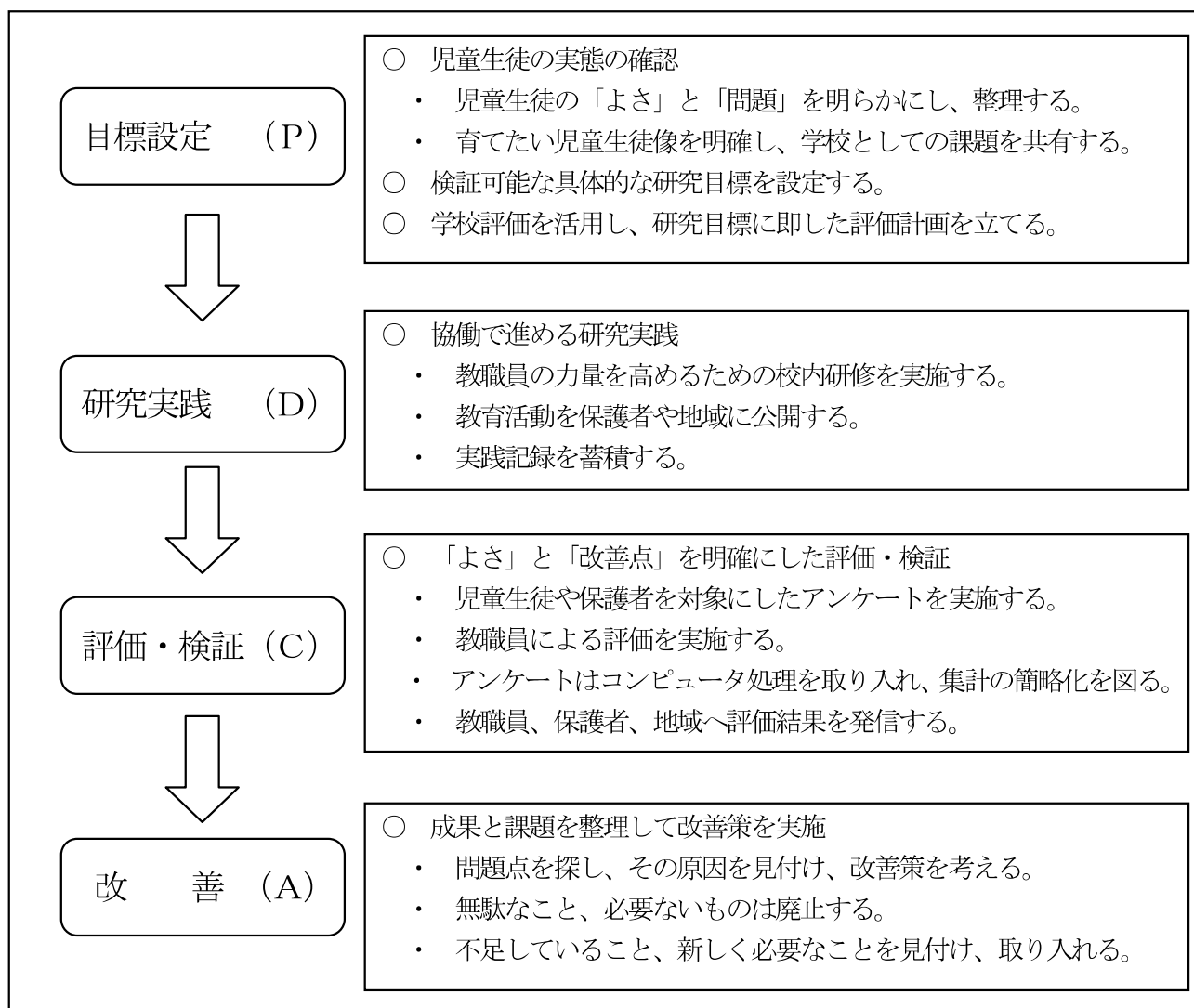
学校評価を活用し、PDCAサイクルで研究を進める。

校内研究の目的は、育てたい児童生徒像を明確にし、それに対して教職員がどのような実践的な力量を付ければよいのかを研究し、その成果を日々の教育活動に生かすことにあります。

また、学校は、「学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。」と学校教育法で規定され、学校評価を行うことが義務付けられています。

そこで、校内研究の中で、学校評価を活用し、PDCAサイクルに基づいて研究を進めていくことにより、組織的、継続的な研究となり、教育活動の改善にもつながります。

基本的な研究の進め方の例とその留意事項は以下のとおりです。（佐古秀一「学校のチームワークを学校改善にどう活かすか」 『教職研修 2011年7月号』 pp.28-31）



〈参考文献〉 佐古秀一「学校のチームワークを学校改善にどう活かすか」 『教職研修 2011年7月号』 教育開発研究所 2011